

事業計画書

【借受申請者： 】

【青年等の氏名： 】

1. 認定就農計画に従って就農しようとする青年等の概要

在学・在職期間	経歴等（在学・在職機関名）
昭和・平成 年 月～ 年 月	
昭和・平成 年 月～ 年 月	
昭和・平成 年 月～ 年 月	
昭和・平成 年 月～ 年 月	
昭和・平成 年 月～ 年 月	
昭和・平成 年 月～ 年 月	
昭和・平成 年 月～ 年 月	
昭和・平成 年 月～ 年 月	

* 学歴・職歴等については、借受申請時の直近までを記入してください。

2. 認定就農計画に従って就農しようとする青年等の就農予定地等

(1) 就農・就業予定地

(2) 就農・就業予定年月 平成 年 月

(3) 就農・就業予定形態 農家後継(個人経営、一戸一法人経営)

新規参入(個人経営、法人設立経営)、法人構成、法人就業

* 認定就農計画の内容に基づき記入してください。

3. 事業計画及び資金計画

(単位：千円)

	事業計画			資金計画
	事業内容	事業年度	事業費	就農支援資金
就農研修資金	【研修先】 名称： 住所： 【実施期間】 平成 年 月 日 ~平成 年 月 日	初年度 (平成 年度)		
		2年度 (平成 年度)		
		3年度 (平成 年度)		
		4年度 (平成 年度)		
就農準備資金	【資金の使途】 【実施期間】 平成 年 月 ~平成 年 月	平成 年度		
	合 計			

* 認定就農計画の内容に基づき記入してください。

4. 元金償還計画

(単位：千円)

就農 予定 年 (○)	区 分		就 農 支 援 資 金				
			今回申請 (研修・準備)	今回申請 (研修・準備)	既借受分 (研修・準備)	既借受分 (研修・準備)	既借受分 (研修・準備)
	借 受 金 額	償 還 年					
回							
	1	平成 年					
	2	平成 年					
	3	平成 年					
	4	平成 年					
	5	平成 年					
	6	平成 年					
	7	平成 年					
	8	平成 年					
	9	平成 年					
	10	平成 年					
	11	平成 年					
	12	平成 年					
	13	平成 年					
	14	平成 年					
	15	平成 年					
	16	平成 年					
	17	平成 年					
	18	平成 年					
	19	平成 年					
	20	平成 年					

* 年度ごとの継続借受け及び単年度における複数借受け（研修資金と準備資金）の場合には、初回到借受けした元金の償還始期及び最終償還期限と同条件となります。

* 借受金額は万円単位、各年償還額は千円単位として、端数は最終年での調整となります。

[例] 借受金額 1,800 千円、償還回数 11 回の年償還額：1 回～10 回 163 千円、最終回 170 千円

<添付書類> ～「就農支援資金貸付取扱要領」第 4 条でご確認願います。

(1) 就農計画認定書及び認定就農計画(償還免除に係る執行予定調書を含め、直近のもの。)の写し。

* 継続借受申請者で、初年度借受時に提出した認定就農計画に変更のない方は省略することができます。

(2) 教育研修は在学証明書、農家研修は研修証明書、海外研修は研修派遣元の団体の発行する証明書。

(3) 借受申請者が未成年者の場合～同意書及び戸籍謄本(抄本)

(4) 借受申請者が法人の場合～定款、規約、規程、借入議決書の写し(但し、原本謄写のあるもの。)及び商業登記簿謄本並びに過去 3 年の貸借対照表(附属明細書を含む。)と損益計算書、申請年度の事業計画書

(5) 利用目的説明書

* 一個人につき、一回限りの提出となります。但し、すでに提出された債務者、連帯債務者、連帯保証人等が他個人の就農支援資金の連帯債務者、連帯保証人等となる場合は新たに提出していただきます。

(6) その他理事長が必要と認める書類